

(仮称) 印西市立東の原義務教育学校 ワークショップ
「こんな学校にしたい！」 ～みんなで描く未来の学び舎～
開催結果報告（意見整理）

1 ワークショップの概要

開催日時

- ・ ミニワークショップ 第1回 開校準備委員会（令和8年7月2日）
- ・ 第1回 令和8年8月23日（日） 9時30分～11時10分
- ・ 第2回 令和8年8月30日（日） 9時35分～11時20分

会場

- ・ ミニワークショップ：市役所 農業委員会会議室
- ・ 第1回、第2回：そうふけ公民館 多目的室

参加者

- ・ ミニワークショップ：開校準備委員会委員8名
- ・ 第1回：未就学児2名、児童6名、保護者5名、その他1名
- ・ 第2回：児童1名、保護者1名、その他6名

実施内容

新しく開校する義務教育学校に向けて、児童・生徒、保護者、地域住民が思い描く「こんな学校だったいいな」という思いや願いを出し合い、これからの学校づくりで大切にしたいことを考えることを目的としてワークショップを実施しました。

ワークショップでは、新設校に期待する姿や学校生活、地域との関わり、施設環境等について意見交換を行いました。また、併せてアンケートを実施し、参加者の意見等を把握しました。

2 ワークショップで出された意見の整理

ワークショップで出された意見については、今後の学校目標、グランドデザイン、学校運営及び施設整備の検討における参考資料として活用するため、次の6つの観点で整理しました。

1. 学び
2. 異学年交流
3. ウェルビーイング
4. 主体性
5. 地域との共創
6. 学校環境

(1) 学び

【代表意見】

- ・一人ひとりの興味や理解度に応じた学び
- ・自ら考え、課題を探究する学び
- ・体験活動を取り入れた学び
- ・ICT やデジタル技術を活用した学び
- ・地域や社会とのつながりを生かした学び
- ・国際的な視点を育む学び
- ・異年齢で学び合う学習活動

【関連する主な意見】

自由進度学習、学習の個人最適化、地域資源を生かした学び、キャリア教育、国際理解教育、ICT 活用、自ら選択できる学習、体験活動の充実など

(2) 異学年交流

【代表意見】

- ・1年生から9年生までの継続的な交流
- ・小学生と中学生が協力し合う活動
- ・上級生が下級生を支援する仕組み
- ・異学年での学習や行事の実施
- ・義務教育学校の特色を生かした交流機会の充実

【関連する主な意見】

小中合同の学習や行事、縦割り活動、1年生から9年生までが共に活動できる機会の充実など

(3) ウェルビーイング

【代表意見】

- ・一人ひとりを大切にする学校
- ・多様なこどもが安心して過ごせる環境
- ・思いやりや助け合いを大切にする学校
- ・いじめのない学校づくり
- ・安心して相談できる環境
- ・こども一人ひとりの居場所づくり
- ・障がいの有無に関わらず共に学ぶ環境

【関連する主な意見】

思いやり、不登校支援、多様なこどもの居場所づくり、安心して過ごせる環境づくり、障がいへの理解、信頼できる人間関係づくりなど

（４）主体性

【代表意見】

- ・ こどもの意見が学校運営に反映される仕組み
- ・ こども自身が考え、選択できる機会
- ・ 学校づくりへの児童生徒の参画
- ・ 児童生徒による自治活動
- ・ 自己決定や対話を重視した学校生活

【関連する主な意見】

校則づくりへの参画、児童生徒の意見の反映、自治活動、生徒会活動への参加、自己決定の機会の充実など

（５）地域との共創

【代表意見】

- ・ 地域人材を活用した教育活動
- ・ 地域課題を学習に取り入れる取組
- ・ 多世代交流の推進
- ・ 地域団体や企業との連携
- ・ 学校施設の地域利用
- ・ 地域と学校が共に活動する機会の創出

【関連する主な意見】

地域人材による授業、地域課題学習、多世代交流、地元企業との連携、地域交流の場づくり、学校施設の地域利用など

（６）学校環境

【代表意見】

- ・ 多様な学習や交流に対応した空間
- ・ こどもの居場所となるスペース
- ・ 図書室や共有空間の充実
- ・ バリアフリー環境の整備
- ・ 防犯・防災機能の充実
- ・ 快適で利用しやすい施設環境
- ・ 放課後や地域利用を見据えた施設整備

【関連する主な意見】

フリースペース、図書室の充実、自習スペース、バリアフリー、防犯カメラ、エレベーター、全館空調、地域利用を考慮した施設計画など

3 アンケート結果

(1) 回答者区分

アンケート回答者は22名であり、内訳は未就学児2名(9.1%)、児童7名(31.8%)、保護者6名(27.3%)、その他7名(31.8%)でした。

(2) ワークショップの満足度

ワークショップに対する満足度は、「満足」が19名(86.4%)、「どちらかといえば満足」が3名(13.6%)でした。

(3) 新設校に期待することも像・学校像

「新設校について、どのようなこどもたちに育ててほしいか(どのような学校になってほしいか)」との設問に対する回答結果は次のとおりでした。

項 目	回答数
自分の頭で考え、新しい価値やアイデアを生み出すこども	19
互いの違いを認め合い、仲間と協力して物事を進めるこども	17
自ら問いを立て、意欲的に学び続けるこども	12
地域の人々や社会とつながり、共に学び合う学校	10
最新のテクノロジーや国際的な視点を身に付けられる学校	6

※複数回答(3つまで選択)

(4) 自由記述意見(抜粋)

- ・小中学生が交流できる学校
- ・いじめのない学校
- ・こどもの心を豊かにする教育
- ・教職員が活動しやすい環境
- ・学校利用と地域利用を考慮した施設配置
- ・肢体不自由児への配慮
- ・地域への周知方法の工夫
- ・多くの人が学校づくりに関われる仕組み